

第 11 回海外状況整理部会議事要旨

日時 2021年3月19日 10:00～12:00

場所 zoom にて開催

出席者 松井部会長、石崎委員、永野委員、浜島委員、米澤委員、ダイバーシティ就労支援機構

フランスについて永野仁美委員(上智大学法学部教授)から、ドイツについて石崎由希子委員(横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授)から、イギリスについて浜島恭子委員(明治学院大学社会学部非常勤講師)からそれぞれ報告があり、意見交換が行われた。

事務局から、2020年度海外状況整理部会報告書については、欧州主要国におけるコロナウイルス感染拡大による雇用就業状況の変化につき1章を設けることにしたこと、2021年度については、3年半の集大成として、主要国の①障害者を始め、生活困窮者、その他働きづらさを抱える者の就業実態、就業対策、②障害者だけから障害者以外を含む「ダイバーシティ就労化」の動向、③支援付き就労、ソーシャルファーム等の状況、④日本と比較し、日本が学ぶべきこと、等をわかりやすくまとめていただきたいと要請し、合意が得られた。

(なお、前回と今回の説明資料はあくまで暫定的なものであり、6月公表予定の「2020年度海外状況整理部会報告書」をお待ちいただきたい)。